



## 「2010年春季 JNN 社長会」で 石原社長が基調報告

3月18日(木)、ホテルオークラ東京において「2010年春季 JNN 社長会」が開催され、石原社長が基調報告を行いました。概要は以下の通りです。なお、本日の社長会では、この他、話題の3Dテレビ最新事情についての勉強会も行われました。

### <4月編成と活性化プロジェクト状況について>

4月編成で、ニュース枠を変更しましたが、報道は今後もJNNにとってエンターテインメントと並ぶ我々の根幹、両輪だと考えている。夕方の『Nスタ』、夜の『ニュース 23クロス』と2本柱で頑張っていきたいと思っている。

今後、私ども放送業界は、思い切った体質改善や発想の転換を実行しなければ生き残れないという厳しい状況にあることはご承知のとおり。TBSでは現在「活性化推進プロジェクト」などを通じ、番組の制作工程の見直しや、組織の簡素化、TBSグループ子会社の整理統合を実施しつつある。こうしたことを推し進め、制作効率を高め、来期はなんとしても視聴率を上げ、黒字を達成すべく臨んでいる。広告市況もスポットは今年に入って持ち直してきており、タイムも今年後半には底を打つのではといった見方もある。デフレ懸念不安材料もあるが、レギュラー番組を強化して、上位を目指して頑張りたいと思っている。

### <放送法の改正ほか>

今月5日、放送・通信分野における放送法などの改正案を閣議決定した。いまの国会で審議が行われ、成立するようだ。総務省がまとめた主な改正点の中で大きいのは、ハードソフトの分離もできるし、一致も選べるという点だ。また、他の地域への出資制限の上限が3分の1未満まで認められ、具体的には省令で定められる。今後も民放連とともに注目していく。

地デジについては、2011年7月の完全移行を目指して、引き続き頑張っていかなければいけないと考えている。

### <楽天買取請求について>

昨年5月から株の買取価格を決める司法手続きが行われていたが、今月5日、東京地裁がTBS側の主張をほぼ認めた、1株1294円という価格を決定した。楽天側は12日に即時抗告を行っており、次は東京高裁で争うことになる。